第 25 回日本総合病院精神医学会総会プログラム

テーマ：新たなチーム医療の展開に向けて

＜会長講演＞

タイプＡ，グループ療法，そしてチーム医療へ

12 月 1 日（土）11：00 ～ 11：40（A 会場）

座長：黒木　宣夫（東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室）

演者：保坂　　隆（聖路加国際病院精神腫瘍科）

＜特別講演＞

チーム医療の展開とリエゾン精神医学

11 月 30 日（金）14：30 ～ 15：10（A 会場）

座長：保坂　　隆（聖路加国際病院精神腫瘍科）

演者：福井　次矢（聖路加国際病院）

＜シンポジウム＞

S1．身体疾患に併存する不安と抑うつ

11 月 30 日（金）9：00 ～ 11：00（A 会場）

座長：仙波　純一（さいたま市立病院精神科）

松島　英介（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心療・緩和医療学分野）

S1-1.　心疾患に併存する不安と抑うつ

松島　英介（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心療･緩和医療学分野）

S1-2.　呼吸器疾患に併存する不安と抑うつ―リエゾン活動を中心として―

仙波　純一（さいたま市立病院精神科）

S1-3.　糖尿病患者の不安の精神療法

堀川　直史（埼玉医科大学総合医療センター精神科，埼玉医科大学医学部大学院医療心理学・リエゾン精神医学）

S1-4.　がんに併存する不安と抑うつ

明智　龍男（名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野）

S1-5.　不安や抑うつを呈する身体疾患患者への看護

梅澤　志乃（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心療･緩和医療学分野）

S2．精神腫瘍学

11 月 30 日（金）9：00 ～ 11：00（B 会場）

座長：内富　庸介（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻脳神経制御学講座）

大西　秀樹（埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科）

S2-1.　2012 年から始まる新たな「がん対策推進基本計画」が目指しているもの

加藤　雅志（国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部，国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科，国立がん研究センター相談支援室）

S2-2.　サイコオンコロジーの診療～入院から外来・地域連携へ～

秋月　伸哉（千葉県がんセンター精神腫瘍科）

S2-3.　医療者の育成

小川　朝生（国立がん研究センター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発部）

S2-4.　早期からの緩和ケアを実現するために

清水　　研（国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科）

S2-5.　小児をめぐるサイコオンコロジーの課題

多田羅竜平（大阪市立総合医療センター緩和医療科兼小児総合診療科）

S3．うつ病治療における総合病院精神科の立ち位置を考える

11 月 30 日（金）9：00 ～ 12：00（C 会場）

座長：竹内　　崇（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野）

岩田　　健（都立広尾病院神経科）

S3-1.　うつ病治療における総合精神病院の立ち位置を考える―クリニックの立場から

阿部　哲夫（あべクリニック）

S3-2.　うつ病―単科精神科病院の場合―

太田　克也（恩田第二病院）

S3-3.　精神科病院（ストレスケア病棟）の立場から

中村　元昭（神奈川県立精神医療センター芹香病院，横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門，昭和大学医学部精神医学教室）

S3-4.　うつ病―職域病院の場合―

真金　薫子（東京都教職員互助会三楽病院精神神経科）

S3-5.　都立多摩総合医療センターにおけるうつ病の治療について

成島　健二（都立多摩総合医療センター精神科）

S3-6.　援助希求行動における楽観的認知バイアス―サービス・ギャップを埋めるために―

梅垣　佑介（東京大学大学院教育学研究科，日本学術振興会）

S3-7.　生物学的研究から見た治療抵抗性うつ病の今後の治療戦略

楯林　義孝（東京都医学総合研究所統合失調症・うつプロジェクトうつ病研究室）

S4. GHP の歴史と地方会の現状

11 月 30 日（金）11：10 ～ 12：10（E 会場）

座長：築島　　健（札幌市南保健センター）

S4-1.　General Hospital Psychiatry 研究会と日本総合病院精神医学会の歴史
篠原　　隆（最高裁判所事務総局人事局）

S4-2.　千葉総合病院精神科研究会
佐藤　茂樹（成田赤十字病院精神神経科）

S4-3.　中国地区 GHP 研究会のあゆみと今後
和田　　健（広島市立広島市民病院精神科）

S5. 総合病院における児童精神科医療の現状と課題

11 月 30 日（金）15：10 ～ 17：10（B 会場）

座長：吉田　佳郎（大阪赤十字病院精神神経科）
宮川　真一（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター精神科）

S5-1.　大学病院における児童青年期精神医学への役割
齋藤　卓弥（日本医科大学精神医学教室）

S5-2.　総合病院における児童精神科医療の現状
荒井　　宏（横浜市立市民病院神経精神科）

S5-3.　総合病院における児童精神科診療の課題
高橋　雄一（横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター）

S5-4.　総合病院における児童精神科医療の現状：アンケート調査結果報告を中心に
高橋　秀俊（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部）

S5-5.　総合病院における児童精神科医療の現状と課題：地域における中核病院の立場から
山崎　　透（静岡県立こども病院こどもと家族のこころの診療センター）

S6. 総合病院での m-ECT ―チーム医療として麻酔科との連携を再び見直す―

11 月 30 日（金）15：10 ～ 17：10（C 会場）

座長：大久保善朗（日本医科大学精神医学教室）
肥川　義雄（都立多摩中央総合医療センター麻酔科）

S6-1.　修正型電気けいれん療法における精神科と麻酔科の連携
伊藤　昌子（東京都立松沢病院麻酔科）

S6-2.　単科精神科病院での麻酔科医との連携による mECT
大舘　太郎（群馬県立精神医療センター）

S6-3.　京都大学医学部附属病院での日帰り電気痙攣療法における麻酔・周術期管理
佐藤　雅美（京都大学医学部附属病院デイ・サージャリー診療部）

S6-4.　電気けいれん療法における精神科と麻酔科との連携の現況―全国アンケート調査から―
奥村　正紀（東京都保健医療公社豊島病院精神科）

S7. 新たなチーム医療の展開

11 月 30 日（金）16：00 ～ 18：00（A 会場）

座長：福嶋　好重（横浜市立市民病院・リエゾン精神看護専門看護師）
小石川比良来（亀田総合病院心療内科・精神科）

S7-1.　医療政策における精神科チーム医療と次期医療計画
伊藤　弘人（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会精神保健研究部）

S7-2.　リエゾンチームの実践について～看護師の立場から～
新田　和子（神戸市立医療センター西市民病院）

S7-3.　総合病院精神科におけるチーム医療の発展性～リエゾンチームの活動を通して
山本　賢司（北里大学医学部精神科学，北里大学医学部中毒・心身総合救急医学）

S7-4.　精神科リエゾンチーム医療の現状と課題
吉邨　善孝（済生会横浜市東部病院こころのケアセンター，北里大学医学部精神科学）

S8. 総合病院精神科と地域連携

12 月 1 日（土）8：50 ～ 10：50（A 会場）

座長：佐竹　直子（国立国際医療研究センター国府台病院）
野口　正行（岡山県精神保健福祉センター）

S8-1.　旭中央病院神経精神科の地域連携
青木　　勉（総合病院国保旭中央病院神経精神科）

S8-2.　総合病院における小規模精神科病床での ACT チームの運営
長谷川雄介（富山市立富山市民病院精神科）

S8-3.　総合病院精神科の地域連携
船山　道隆（足利赤十字病院精神神経科）

S8-4.　地域からみた急性期病院と地域機関の連携体制
野口　正行（岡山県精神保健福祉センター）

S9. 高齢者に対するコンサルテーション

12 月 1 日（土）8：50 ～ 10：50（B 会場）

座長：飯島　　節（筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻）
小田原俊成（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

S9-1.　高齢者の総合機能評価
櫻井　　孝（国立長寿医療研究センターもの忘れセンター）

S9-2.　せん妄の薬物療法
田村　義之（旭川医科大学医学部精神医学講座）

S9-3.　高齢者の治療同意能力について
大島　悦子（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室）

S9-4.　高齢者の終末期にどのように対応するか
　　飯島　　節（筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻）

S10．救命救急センターにおける精神科救急
12 月 1 日（土）13：40 ～ 15：40（A 会場）
座長：藤井　　勉（富山県立中央病院精神科）
　　佐藤　茂樹（成田赤十字病院精神神経科）
S10-1.　神経学的疾患を鑑別する：多発性硬化症，抗 NMDA 受容体脳炎の症例について
　　島本　卓弥（奈良県立医科大学精神医学講座）
S10-2.　身体的問題を有する精神科救急事例への対応
　　日野　耕介（横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター）
S10-3.　自殺企図者への対応
　　齋賀　孝久（成田赤十字病院精神神経科）
S10-4.　当院における緊急措置入院の現状と今後の課題―身体科救急医療との連携―
　　古塚　大介（大阪市立総合医療センター精神神経科）

S11．身体疾患への心理療法
12 月 1 日（土）13：40 ～ 15：40（C 会場）
座長：池尻　義隆（住友病院メンタルヘルス科）
S11-1.　がん臨床に認知行動療法をいかす
　　藤澤　大介(国立がん研究センター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発部)
S11-2.　糖尿病患者への心理援助―総合病院内分泌代謝内科とのリエゾン―
　　巣黒慎太郎（(財）住友病院臨床心理科）
S11-3.　慢性めまいに対する集団認知行動療法
　　近藤　真前（名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学）

S12．せん妄
12 月 1 日（土）15：50 ～ 17：50（A 会場）
座長：横山　　伸（長野赤十字病院精神科）
　　宇田川雅彦（船橋市立医療センター精神科）
S12-1.　せん妄の診断と対応
　　岸　　泰宏（日本医科大学武蔵小杉病院精神科）
S12-2.　せん妄治療におけるチーム医療の展開
　　横山　正宗（済生会横浜市東部病院精神科）
S12-3.　せん妄の薬物療法
　　竹内　　崇（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野）
S12-4.　せん妄ケアにおける看護の課題
　　二宮　美香（日本医科大学武蔵小杉病院）

＜教育講演＞

K1．分子イメージングの進歩と精神科臨床への応用

11 月 30 日（金）11：10 ～ 12：10（A 会場）

座長：保坂　　隆（聖路加国際病院精神腫瘍科）

演者：大久保善朗（日本医科大学精神医学教室）

K2．認知行動療法 update ―総合病院での実践のために

11 月 30 日（金）11：10 ～ 12：10（B 会場）

座長：赤穂　理絵（都立駒込病院神経科）

演者：藤澤　大介（国立がん研究センター東病院精神腫瘍学開発部）

K3．忙しい総合病院精神科医のための最新必読文献 20 選

11 月 30 日（金）11：10 ～ 12：10（D 会場）

座長：井上真一郎（岡山大学病院精神科神経科）

演者：井上真一郎（岡山大学病院精神科神経科）

武田　直也（医療法人十全会　十全第二病院）

矢野　智宣（岡山大学医学部精神神経病態学・矢野産業医事務局）

＜ワークショップ＞

WS1．医師の健康支援ワークショップ（定員制・要事前申込）

11 月 30 日（金）15：20 ～ 18：20（E 会場）

座長：医師の健康支援ワークショップ実行委員会

講義：医師のメンタルヘルスと診察法

・ロールプレイ

講義：医療機関での産業保健活動の展開

・ケーススタディ体験

WS2．研究を始めるために

11 月 30 日（金）16：00 ～ 18：00（D 会場）

座長：松岡　　豊（国立精神・神経センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

WS2-1.　臨床研究の歴史，意義，研究の形式化

中川　敦夫（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター臨床研究教育研修室）

WS2-2.　教育を研究にする

藤澤　大介（国立がん研究センター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発部）

WS2-3.　研究をするうえで知っておきたいこと

西　　大輔（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部）

WS3. 生体臓器ドナーの意思決定：判断困難なケースを考える
12 月 1 日（土）8：50 ～ 10：50（C 会場）

座長：西村　勝治（東京女子医科大学医学部精神医学教室）
萩原　邦子（大阪大学医学部付属病院移植医療部レシピエント移植コーディネーター）

1. 導入：「生体臓器移植ドナーの意思確認に関する指針」の紹介
西村　勝治（東京女子医科大学医学部精神医学教室）

2. 事例検討

事例 1：家族からの心理的圧力
木村　宏之（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野）
川嵜　弘昭（九州大学大学院医学研究院精神病態医学）
中西健二（三重大学医学部付属病院医療福祉支援センター臨床心理士）

事例 2 「知的障害」
田中　輝明（北海道大学大学院医学研究科精神医学分野）
野間　俊一（京都大学大学院医学研究科精神医学）
小林　清香（東京女子医科大学医学部精神医学教室　臨床心理士）

事例 3 「意思確認のタイミング」
町野　彰彦（広島大学病院精神科）
桂川　修一（東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック）
梅谷　由美（京都大学附属病院看護部・臓器移植医療部レシピエント移植コーディネーター）

WS4. 臨床研究で英語論文を書いてみよう
12 月 1 日（土）8：50 ～ 10：50（D 会場）

座長：和田　　健（広島市立広島市民病院精神科）

WS4-1. 英語論文の書き方を教えてください
小口　芳世（慶應義塾大学医学部精神神経科学教室）

WS4-2. もっと英語論文を書こう
松岡　　豊（国立精神・神経センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

WS4-3. 英語論文を査読するときのポイント
内富　庸介（岡山大学大学院精神神経病態学教室）

WS5. リエゾン精神看護活動と精神科リエゾンチーム加算
12 月 1 日（土）13：40 ～ 14：40（B 会場）

座長：川名　典子（杏林大学医学部付属病院看護部）

WS5-1. リエゾン精神看護活動と精神科リエゾンチーム加算
川名　典子（杏林大学医学部付属病院看護部）

WS5-2. 岡山大学病院でのリエゾン精神看護活動と精神科リエゾンチーム加算の算定状況
馬場華奈己（岡山大学病院看護部）

WS5-3. 北里大学病院におけるリエゾン精神看護活動と精神科リエゾンチーム加算申請後の実際
白井　教子（北里大学病院）

WS6. 忙しい総合病院精神科医のためのエビデンスとの付き合い方（定員制・要事前申込）
12 月 1 日（土）13：40 ～ 15：40（D 会場）

ファシリテーター：渡辺　範雄（名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野）
佐渡　充洋（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室）

(1) 忙しい総合病院精神科医がエビデンスと付き合うために― EBM 概要（講義）
(2) 臨床疑問の作り方（講義＋演習）
(3) エビデンスを検索する（講義）
(4) エビデンスの妥当性を評価する（講義＋演習）
(5) エビデンスから治療効果の臨床的重要性を調べる（講義）
(6) 自分の患者さんに適用する（講義＋演習）

＜金子賞受賞記念講演＞
コンサルテーション・リエゾン精神医学における身体疾患による適応障害の臨床研究
～疾病の受容過程における体験反応様式による亜型分類の試み～
11 月 30 日（金）14：10 ～ 14：20（A 会場）

座長：黒木　宣夫（東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室）
演者：木村　哲也[1,2]，佐藤　直弘[3]，木村　宏之[3]
[1] 木村神経科，[2] 中京病院精神心療科，[3] 名古屋大学医学部附属病院精神科

＜ベストポスター賞授賞式＞
11 月 30 日（金）18：30 ～（F 会場・大展示場）

＜国際学術交流招待講演（韓国心身医学会との国際交流プログラム）＞
12 月 1 日（金）11：40 ～ 12：20（A 会場）

座長：黒木　宣夫（東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室）

1. Stress Management Program for Employees Using a Smart Phone
   Jeong-Hyun Kim
   Seoul National University Bundang Hospital
2. Type D personality: New issue of psychosomatic medicine
   Young-Hoon Ko
   Department of Psychiatry, Korea University Medical Center Ansan Hospital

＜ランチョンセミナー＞

LS-1. 気分障害の臨床をめぐる新たな PERSPECTIVE

11 月 30 日（金）12：20 ～ 13：20（A 会場・小展示ホール）

座長：大森　哲郎（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部精神医学分野）

演者：坂元　　薫（東京女子医科大学病院精神医学教室）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社，大日本住友製薬株式会社

LS-2. がん患者の心のケア～精神医学と心理学の配合加減～

11 月 30 日（金）12：20 ～ 13：20（B 会場・梅）

座長：吉村　玲児（産業医科大学医学部精神医学教室）

演者：内富　庸介（岡山大学大学院医歯学総合研究科精神神経病態学教室）

共催：持田製薬株式会社，田辺三菱製薬株式会社，吉富薬品株式会社

LS-3. 慢性痛の薬物療法

11 月 30 日（金）12：20 ～ 13：20（C 会場・鶯）

座長：樋口　輝彦（国立精神・神経医療研究センター）

演者：伊達　　久（仙台ペインクリニック）

共催：旭化成ファーマ株式会社

LS-4. 更年期女性のうつ状態に対する治療ストラテジー

11 月 30 日（金）12：20 ～ 13：20（D 会場・A・B 会議室）

座長：切池　信夫（大阪市立大学名誉教授）

演者：加茂登志子（東京女子医科大学附属女性生涯健康センター）

共催：ファイザー株式会社

LS-5. 眠りの改善　その意義と対応

11 月 30 日（金）12：20 ～ 13：20（E 会場・D 会議室）

座長：中村　　純（産業医科大学精神医学教室）

演者：岡　　靖哲（愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター）

共催：エーザイ株式会社

LS-6. レストレスレッグス症候群の薬物治療

12 月 1 日（土）12：30 ～ 13：30（A 会場・小展示ホール）

座長：内山　　真（日本大学医学部精神医学系）

演者：内村　直尚（久留米大学医学部精神神経医学講座）

共催：アステラス製薬株式会社

LS-7．うつ病治療の問題点と今後

12 月 1 日（土）12：30 ～ 13：30（B 会場・梅）

座長：伊豫　雅臣（千葉大学大学院医学研究院精神医学）

演者：大坪　天平（東京厚生年金病院精神科・心療内科）

共催：MSD 株式会社

LS-8．双極性障害の診断と治療

12 月 1 日（土）12：30 ～ 13：30（C 会場・鶯）

座長：木村　真人（日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科）

演者：古郡　規雄（弘前大学医学部神経精神医学講座）

共催：大塚製薬株式会社

LS-9．統合失調症における新たな治療展開―患者さんにやさしい薬物療法とは―

12 月 1 日（土）12：30 ～ 13：30（D 会場・A・B 会議室）

座長：岸　　泰宏（日本医科大学武蔵小杉病院精神科）

演者：宮田　久嗣（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

共催：大日本住友製薬株式会社

LS-10．抗うつ薬の反応予測，そして奏効しない際の次の一手は

12 月 1 日（土）12：30 ～ 13：30（E 会場・D 会議室）

座長：内富　庸介（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻脳神経制御学講座）

演者：渡邊衡一郎（杏林大学精神科）

共催：塩野義製薬株式会社，日本イーライリリー株式会社

＜イブニングセミナー＞

ES-1．精神疾患における薬物療法～統合失調症・うつ病を中心に～

11 月 30 日（金）17：20 ～ 18：20（B 会場・梅）

座長：大久保善朗（日本医科大学精神医学教室）

演者：伊豫　雅臣（千葉大学大学院医学研究院精神医学）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ES-2．せん妄の診断とその対応

11 月 30 日（金）17：20 ～ 18：20（C 会場・鶯）

座長：赤穂　理絵（都立駒込病院神経科）

演者：松島　英介（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心療・緩和医療学分野）

共催：アステラス製薬株式会社

＜リエゾン・コメディカル委員会教育研修会＞

患者さんの対応に困った時―看護師・心理士のためのリエゾンコンサルテーション基礎知識―

12 月 1 日（土）15：00 ～ 18：00（B 会場・梅）

【プログラム概要】

●症例検討のワークショップ

仮想症例：『がん治療中で，死にたい気持ちを訴える患者さん』

全体ファシリテーター：小林　清香（東京女子医科大学病院）

●講義・質疑応答

A. 看護師向け講義

担当：福嶋　好重（横浜市立市民病院）

・精神科専門職へのコンサルテーションの枠組み

・精神科専門職へ依頼してほしいエピソード

・精神科専門職へ伝えてほしい患者の情報

B. 心理士向け講義

担当：満田　　大（三井記念病院）

・リエゾンコンサルテーション特有の二重構造の枠組み

・身体疾患患者の心理的見立てにおいて，除外すべきポイント（せん妄や薬剤の影響など）

＜認知症専門医療従事者研修会＞

12 月 1 日（土）15：50 ～ 17：50（C 会場・鶯）

1. 認知症の地域連携―専門医療機関の立場から

吉村　匡史（関西医科大学精神神経科学教室）

2. 板橋区における認知症地域医療連携

弓倉　　整（弓倉医院）

3. 認知症者支援ネットワークに於ける可能性を探る

中澤　純一（特定非営利活動法人やじろべー）

＜ GHP 精神腫瘍学研修会＞

12 月 1 日（土）15：50 ～ 17：50（D 会場・A・B 会議室）

＜他学会＞

第 1 回関東・関西合同コンサルテーション・リエゾン研究会

テーマ：リエゾン現場での困りごと―その解決を探る

12 月 1 日（土）9：00 ～ 12：20（E 会場・D 会議室）

※詳しくは 213 ページをご覧下さい。